

ぱおぱお ニュース

< 病気の豆知識 >



今月は… 『ヒトメタニューモウイルス』です

乳幼児の気管支炎の原因としてよく見られるウイルスです。晩冬から春にかけて流行します。小児は5歳までに少なくとも1回は感染しているといわれるウイルスです。

発熱・咳・鼻水など風邪の症状で始まりますが、しだいに咳がひどくなり、ゼーゼーと苦しそうな呼吸になってきます。

RSウイルス同様に、大きい子には普通の『風邪』で終わりますが、乳幼児や小さく生まれたお子さんなどは、ゼーゼーしやすく、気管支炎や肺炎など起こして重症化することもあるので注意が必要です。

こんな時にはもう一度受診をお勧めします！

- * ゼイゼイ・ヒューヒューの音が強く、息苦しそう
- * 胸やお腹をペコペコさせて息をしている
- * 顔色がよくない
- * 母乳やミルクの飲みが悪い



息をするとき
肋骨、鎖骨の上がへこむ
(陥没呼吸)

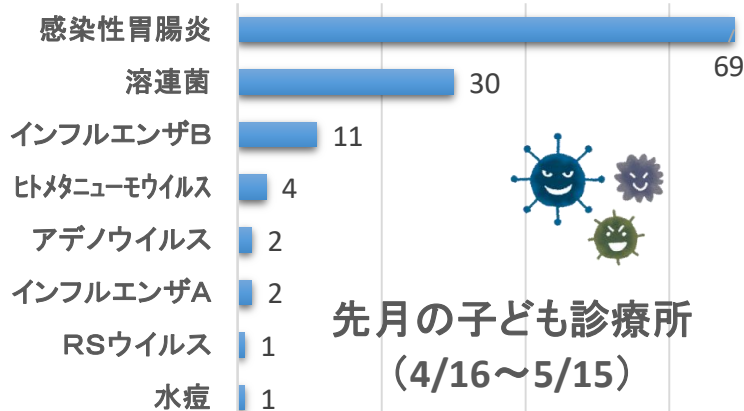
ウイルスの潜伏期間は3~5日で、
排泄期間は1~2週間といわれています。

発熱や咳などの症状が治まれば登園可能です。



寝ない、眠れない

< 感染症情報 >



子ども診療所では…

- ・相変わらず胃腸炎が流行っています。気持ち悪くて吐いてしまうお子さんが目立ちます。
- ・インフルエンザは小学生にまだ出ていました。

病児保育室ぱおぱおでは…

- ・予約が混みあってきました。発熱、咳、ゼーゼー、おう吐、下痢などの症状のお子さんがいらしています。

< 指遊び >

梅雨の時期がやってきました…。家の中で過ごす時間が増えますね。
そこで今回は、家だけでなく、移動中の乗り物や病院の待ち時間など、どこでも出来る『指遊び』をご紹介します。指遊び！？と思う方もいると思いますが、読むと懐かしく思うかもしれません。

< いっぽん橋 >

「♪いっぽんばし こちょこちょ たたいて…」と、このリズムに聞き覚えがあるかと思います。歌いながら、手のひらを人差し指でなぞったりくすぐったりして階段をのぼる様に動かして、最後は体のいろんなところをくすぐります。
赤ちゃんがぐずった時にも使えるかもしれませんね。小さなお子さんでも簡単に真似して楽しめます。

< グリンピース >

じゃんけんゲームです。「グー」は「グリーン」、「チョキ」は「チョリン」、「パー」は「パリン」と言い勝ったほうが掛け声をかけていき、「あいこ」になったら「ドン！」と言う。

まずは「グリンピース♪」と言ってじゃんけんをする。勝者が「パー」だったとすると、「パリンパリン・チョリン！」と次の手を出し、次の勝者はこれを繰り返す。

あいこになって「ドン！」と早く言えた人の勝ちとなる。スピードを速めると頭の回転もUP！



< わりばしゲーム >

お互い両手の人差し指を立ててスタート！じゃんけんが勝った方が相手のどちらかの手にタッチする。タッチされた方はその本数を足して指を増やしていく。5本以上になってしまった手は引っ込めます。両手とも5本以上になって引っ込めてしまったほうが負けです。



指遊びは親子のコミュニケーションとして自然とスキンシップが取れるのも魅力ですね。また、数字への興味関心や手先を反応よく動かすことにつながる要素が詰まっています。おもちゃがなくても遊べる術を知ることは、創造力を養う上での大切な力となるでしょう。他にも様々な指遊びがあります。ネット検索して、ご家族で遊んでみてはいかがでしょうか？

< スマイルコーナー > 病児保育室での心温まるエピソードなどをご紹介しますね。

『 笑いのツボ 』

笑

先日、風邪で入室した6か月の赤ちゃんK君。
回復期で機嫌はよく、人見知りもなくニコニコの笑顔で入室しました。
ガラガラなどおもちゃを握って舐めながらおしゃべりもしています。

そんな中…ハクション！とくしゃみが出ると同時に、ブツ！とおならも出ちゃったK君。
一瞬、ポカンとした表情の後、ケラケラケラ…と自分で大笑い！笑い袋のようで、こちらもつられて笑ってしまいました。その後しばらくは、ボールが転がるだけでも大笑い。試しに指でお腹やほっぺを「ポチッ」とすると……やっぱり大笑い。その笑い声につられて笑い、幸せなひと時でした。(T)



保育室のご利用には 事前の登録が必要です！

新規ご登録は随時行っております。まずはお気軽にお電話を♪

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお（月～金 8：30～17：30）

TEL 042-521-2777

